

◆ ANSWER 連合とは

ANSWER 連合（Act Now to Stop War & End Racism／戦争を止めレイシズムを終わらせるために今こそ行動を）は、2001年の9・11事件の数日後に、ブッシュ政権の戦争への猛然たる突入と米国でのアラブ人やムスリムのコミュニティに対する民族差別的な攻撃に対してすばやく行動する必要があると考えた米国の進歩的団体・個人によって結成された。ANSWER 連合は、アメリカ反戦運動内の反帝国主義的翼を代表する全国連合であり、10年以上にわたってワシントンDC、サンフランシスコ、ロサンゼルスその他の米国の都市で数々の最大規模で進歩的なデモンストレーションを組織するなど、その結成以来米国でもっとも活発な反戦連合であり続けてきた。

ANSWER 連合は反戦・反レイシズムの活動に加えて、移民の権利、警察の弾圧に対する闘い、労働者、学生、パレスチナ人民の闘争やキューバ革命への連帯、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの権利、政治犯への支援、そして直近ではオキュパイ・ムーブメントなど、他の多くの社会運動のなかで重要な役割を果してきた。

全米の30都市以上に ANSWER 連合の支部があり、他の都市にも個人活動家や支援者が存在している。多くの ANSWER 連合の支部では、デモンストレーションや抗議行動に加えて、定期的に教育フォーラムや映像上映会などをおこなっている。

十数年前の発足以来、ANSWER 連合の活動の中心的で一貫したテーマは以下のものであった。すなわち、1) 米国と世界における搾取・抑圧に対する闘いの不可分の結びつき、2) アメリカ帝国主義の支配階級が米国人民のみならず、世界の人民の第一の敵であるという事実、3) 世界を変えるための核心としての階級意識と戦闘的大衆運動の必要性、である。



▲アメリカのシリアへの軍事介入に反対するデモ（2013年9月）